

1. 基本的な考え方

- 1) 新型コロナウイルス感染症の主な感染経路である接触感染と飛沫感染を回避する
- 2) 他者と共有する物品及び直接手が触れる場所と頻度を特定し、接触機会を軽減する措置を講じる
- 3) 感染リスクの高い「3つの密」となる場所や状況を特定し、可能な限り事前対策を講じる
- 4) 一定の距離・間隔を確保する必要がある場合、1 m（可能であれば2 m）を確保する
- 5) 研修中は、禁酒・禁煙とする

2. 基本行動「うつらない、うつさない」

- 1) マスクの着用で飛沫感染を防止する
- 2) 手洗い・消毒で接触感染を防止する
- 3) 共用品を減らし、個人使用のものを持参する
- 4) 密集を作らない、密集を避ける研修スケジュールとする
- 5) 声による伝達を減らし、配布物を準備する
- 6) 規則的な生活（バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠）を心がける

3. 研修中の感染防止対策

- 1) 自宅出発前 「健康調査票」による健康チェックを実施する
体調不良を感じる場合は、参加の可否を自己判断する
マスクの着用と予備マスクを自身で用意する
- 2) 集合 現地集合・現地解散も選択肢として検討する
集合時は、一か所に大人数で集まらないようにする
人と人の距離を確保し、大きな声での会話は控える
体調不良を感じる場合、または体調に心配がある場合は引率者に連絡し、参加可否を相談する
- 3) 移動中 新幹線、電車、バス移動の際は指定された席に座り、会話は控える
車内では水分を摂る程度の飲料を除き、飲食を禁止する
乗車、下車は滞りなく、速やかに行う
- 4) 宿泊所到着 入館前に手指消毒を行う
ロビー等で密にならないように、部屋の鍵を受けとったら、速やかに指示された場所に移動する
エレベータの使用では密にならないように間隔をあける。低層階は階段で移動する
- 5) 食事 朝・昼・夕食は食事会場のみで行い、密にならないよう指定人数分に分け、時間差をつけて、入退室する。
入室する際は、手の洗浄または消毒、体温測定を徹底する
席は間隔をあける等、工夫する

- 食事中は「黙食」を徹底する
- 6) 入浴 一度に入浴する人数が多くなならないよう、時間差をつけて入浴時間を設定する
入浴中、脱衣所内等での会話は控える
ヘアードライヤー等、共用した後は手の洗浄や消毒を行う
 - 7) 研修・ゼミ 指定された場所で行う
マスクを着用して参加し、出席者の間隔をあけて着席する
定期的に換気を行う
 - 8) 自由時間 他の学生の部屋には行かない
 - 9) 閉会 集合する場合は広い場所で行い、連絡事項等は最低限とする
 - 10) 帰宅後 終了後も、所定の期間「健康調査表」に体温等を記入して体調管理に努める

★緊急時 感染が疑われる発熱者が発生した場合、引率者は宿泊施設の管理者等と連携して、病院への搬送や保健所への連絡等を相談して対応する。その後、大学への連絡・報告を行う。

★研修内容に照らして、感染に注意すべき事項を付加し、研修実施要領や研修パンフレット等を作成して参加者に周知徹底する。

【最後に】

担当教員は本ガイドラインを参考として、それぞれの研修プログラムにおけるスケジュール、注意事項等を作成する。

緊急事態の場合などは、ガイドラインに捉われず、適切な判断・対応をお願い申し上げます。

以上